

がん相談 支援センターだより

がん相談支援センター がん専門相談員 松岡 悠

がん相談支援センターでは、治療だけでなく、「もしもの時には家がいいな」「延命治療はいやだ」「自分らしく人生を全うしたい」などと最期のことに関する声も寄せられます。誰しも、できるだけ自分のことは自分でしたい、元気に過ごしたいと考えておられると思います。今回は医療や介護、地域でも耳にすることが多くなったアドバンス・ケア・プランニング(ACP)についてご紹介させていただきます。

知ってる？ACP（人生会議）①

アドバンス・ケア・プランニング(ACP)とは..

自分が希望する医療やケアを受けるために、大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療・ケアを受けたいかを前もって自分自身で考え、家族や身近な人、医療従事者と話し合い、共有することを言います。

厚生労働省では「人生会議」と称され、病気の方も、そうでない方も自分らしく生きるために、ACPについて考えることはとても大切なこととされています。



ACPをしておく、何がいの？

自分がどう考えているかの話をしておくことは、将来受けるかもしれない医療やケアにおいて、あなたの考えや意向が尊重されることに繋がります。命の危険が迫った状態になった時には自分の意思を表出できないこともあります。日頃から話し合いが行われていると、将来あなたの代わりに意思決定をしなければならない人にとっても混乱や迷いを少なくする可能性があります。



あなたの思いを是非、
ご家族や信頼している人に伝えてください😊

院内の各所へアドバンス・ケア・プランニングについての冊子を設置していますが、2階がん相談支援センターでも相談お受けしています。がんの有無は問いません。ご興味のある方は是非、お気軽にご相談ください。

がん相談支援センター

【場 所】2階ラウンジ横 【相談時間】平日(月～金)／9:00～17:00

【相談方法】面談または電話(予約・受付不要、相談無料) 【電話】0855-28-7096

